

裁

牝

めすあな

ARMAMENT: CALCIUM

武装カルシウム

成人
向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

さいばん

判

六



幻想郷局
罪科軽重決断所

是非曲直庁

次の者
前へ

閻魔王院

汝たまたま
生まれ難い
幻想郷に生まれ

しかも
逢い難く聞き難い
仏法流布の国に
生まれながら

汝が娑婆での欲心に
とらわれて犯した
罪状は全てこの
鏡の前に明らかと
なった

主文

汝の罪を
以って

地獄界
焦熱地獄逝きに
処する
以上

以上

牝穴
裁判
めすあなさいばん





もしや僕をお探しいませんか？

四季幻想郷判事

ヤマザナドゥ



カッ
カッ



今日は法廷の後ろのほうから見させてもらいました

僕が四季判事の幻想郷局付の秘書官に配属されてから2週間：

前にいた中央の大法廷とはまた違った貴重な経験をさせてもらっていますよ

それ以上近付かずに

：黙って歩いて下さい

秘書官



ははは相変わらず冷たいですねえ

いい加減意地を張るのをやめたらどうですか



というかさっきから随分早歩きですね：

そんなに慌ててどうしたんです？

映姫様

カッ
カッ

カッ
カッ

カッ
カッ

すごいすごい
まだバテて
ないですよ？

次はスカート
ひざ上25センチで
いきましょっか

ふふ…
ふざけないで
下さい！

早くっ…
これを…

早く…
何です？
どうしたいん
ですか？

…外しなさい…っ
…外してください…

だから
どうしたいん
ですか？

部下への
指示は
明確にお願い
しますよ？





お...

...おしっ...

さして...
ください...

よく
言えました



ほらどう
しました?

水洗式
至屎泥処地獄

鍵は外し
ましたよ?

終わるまで
見てあげます
から

あっ
あなた...
本当にどうか
していますっ!!

毎日こんなっ...
辱め行為ばかり...

そんなポーズで
お説教する映姫様
カワイイですよ

そんなことより
早くしたら
どうですか?

ガマンして
たんで
しょう?

...

うん



ははは
勢いが
すごいです
ね

さっきは
あんなに冷静な顔で
仕切っていたのに

あの薬を
摂取してから
もう2週間…

そうやって
少しずつ
排泄されて

効果が消えるまで
まであと
2週間という
ところですかね

実は相当
ガマンしてたん
ですねぇ

まだまだ
かかりますよ？



終わり
ましたか？



はいじゃあ
今日の分

見てたら
こんなになって
しまった

もうっ…
いい加減にッ…

え？
いらん
ですか？

おかしいなあ…

あと2週間は
欲しくて
たまらないはず
なんだけどなあ



あなたが
飲んだ薬には
『刀葉林』の樹の根が
入ってしまってますね

刃のように
尖った葉を持つ
樹の上や下に
美女が誘惑する
妄想を見せ

それを求めて
登り降りしようとする
者を切り刻む

生前淫欲に溺れ
善業に励まなかつた
亡者のための拷問樹
ですよね

僕はこの樹のある
衆合地獄の鬼神と
悪意でして…

面白いことを
教えてもらい
ました

あの樹の
根のエキスに
とあるモノを混ぜて
薬にすると

飲んだ者を
その混ぜられた
モノ中毒にしてしまう
効果があるそうです

つまり映姫様
あなたは今…

「ファッ!!!」

僕の
精液の虜♡

こっぴどくす

クハッ
クハッ

クハッ

あの四季映姫が
死神秘書官である
僕の精液中毒
だなんて…

あーほら
もっとちゃんと
こっち見て
やって下さい



クハッ
クハッ



クハッ
クハッ

あゝ♡♡
やっらしい顔っ



そうそう…

あゝ♡♡



ヤバッ…

クハッ
クハッ

クハッ
クハッ



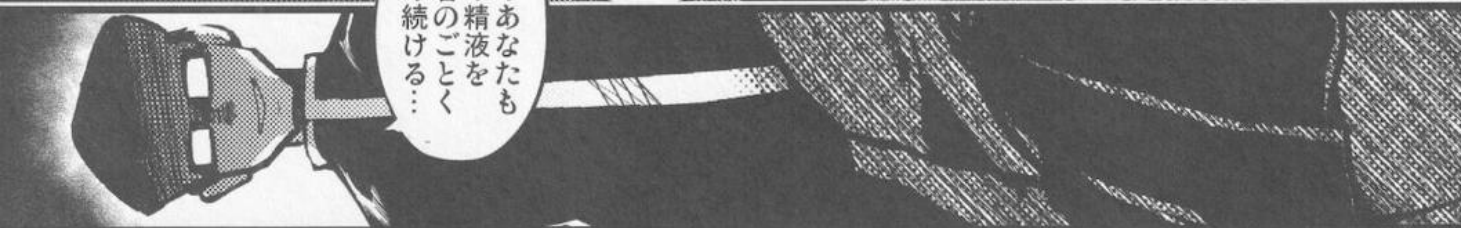
ふう〜っ…

最っ高っす

ふほお〜〜〜♡♡

刀葉林に囚われた
亡者は登り下りを
永遠に繰り返す
そうです

今のあなたも
僕の精液を
亡者のごとく
求め続ける…



飲めましたー?

解毒剤は
ちやあんと
あるんですから

あなたが
同意すれば
いつでも
差し上げますよ

いきなり
出されて
むせちゃい
ましたか

閻魔王院
監査室
からの

要請に
…ね?

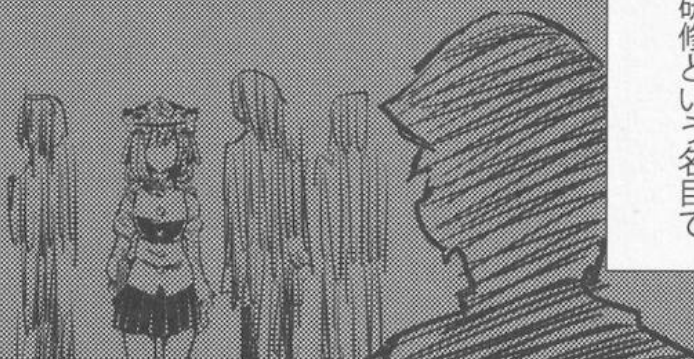
閻魔王院
監査室―

閻魔王直属の
諮問機関で

庁内の規律の
乱れを正し
秩序を守る部署

彼がそこから
研修という名目で

私の担当する
裁判部幻想郷局に
派遣されてから
2週間



初日に
受け取った
差し入れを
食べて以来

彼からの
執拗な辱めが
続いていた

仕事中でも
徐々に
エスカレートする
その陵辱の目的：

それは

私の
閻魔裁判への
介入

そして―

この者を

天界逝きに
処して
もらいたい

ある死者への判決を
捻じ曲げることに

私はすでに
中央から
呼び出され

同じ要請を
受けていたが

即
断っていた

寿命局の
報告書では
その人物は

30日後に
私の担当区域である
幻想郷で死ぬことにな
っていた

しかし

この人物の
生前の居住区は
幻想郷の外の世界で
あることなど

その他
余りに
不審な点
が多く

何より
その要請は

『閻魔の判決は
完全に中立かつ
独立であるものとする』
と定める

閻魔裁判法に
違反するもので
あったため
断ったのである

その後
である

この男が
送り込まれた
のは…

件の人物が
亡くなる予定日まで
あと一週間を
切りましたが…

まだ
同意してもらえ
ませんか？

映姫様

何度聞かれても
答えは同じ!

閻魔の原則を
外れるようなことには
同意しません!!

そんな風に
高潔なあなたは
お金なんかじゃ
絶対転ばないし

上からの
圧力にも
屈さない

だから
この方法が
最適でした

こんな事実
他言できないし

できたとしても
地獄の裁判制度は
大混乱

輪廻の機能
そのものが
停止する可能性
すらある

そこであなたは
その裁判を終えるまで
耐えるしかない
と考えた

閻魔が下した判決は
絶対に覆りません
からね:

尊敬しますよ
映姫様

閻魔として
素晴らしい
信念です



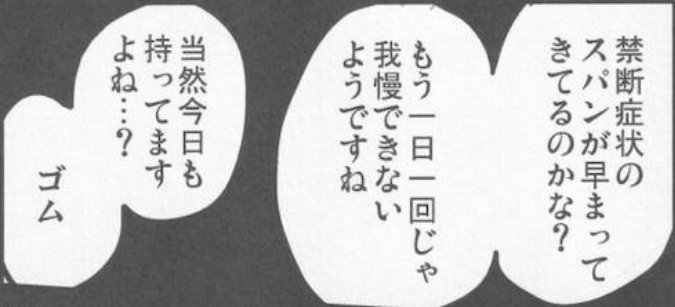


...



でも
身体の方は
僕のおいを
間近で嗅いで

こんな
なってるって
いうのよね？



禁断症状の
スパンが早まって
きてるのかな？

もう一日一回じゃ
我慢できない
ようですね

当然今日も
持ってます
よね...？

ゴム

此岸からの
貴重な
横流し品
ですよフフ

生出しなんて
したら

今とは
比較にならない程
中毒が強まり過ぎて
しまうらしい
ですから



大嫌いな僕の
身体から出る

大好きな
精液...

このにおいっ...

好きッ...!

そうですか

じゃあ身体が
望んでるのは
これ？

トイレでヌいて
もらったのに
まだまだ
出そうだ...



あ...



いつも心底
嫌そうな顔を
するくせに

僕の部屋に
呼び出されたら
必ず抱かれに
来る...

実は望んで
るんじゃない？



違いますっ!!

薬の所為
です!



判事補時代から
あなたは僕の
羨望と嫉妬を
独占してきた

野仏^{のぼとけ}出身で
ありながら
飛びぬけて優秀で
人望も篤い才媛



そんなあなたが
幻想郷判事
などという閑職に
自らの意思で
収まったとき

僕はショック
だった



毎日毎日
閻魔様が
部下の死神の僕に
仕込まれて…

へたくそだった
お口もすっかり
上手くなって



あの頃は
まさか思っても
みなかったなあ

こんな
フェラ顔を
する方だった
なんて…



あの四季映姫が
こんなスケベ行為
させられてる
なんて…



ツンと張った
この小ぶりの
胸...

素晴らしい

しゃべる度に
肌にかかる

生ぬるい
息づかい

相変わらず
つるつるだ

芸術的
ですよ

あ♡
あ♡



済ませたら
いいですっ...!

身体が...
アツいっ...

あつ...
あつ...



嫌...
なのに...

ねとねと
這う舌

ゴム出しした後
タツプリ飲ませて
あげますよ

持ってきたって
ことはゴム付き
ならいって
ことですよね?



ああ
映姫様……



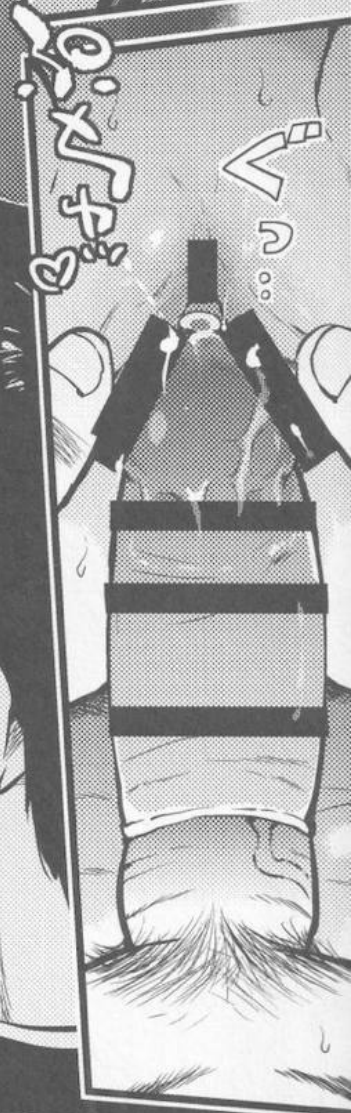
あなたは
もっと自覚
するべきだ

その弱々しく
反抗する姿が



僕の征服欲に
火をつけてるって
ことを！

ああ
穴超狭っ……



やっと
入ったと



タダでさえ
キツキツなのに...

脚閉じて
ギュウギュウに
締め付けて...

ギョッ

グッ



必死の
抵抗だなあ...

そうやってすぐ
イかせようと
してくる...

グッ



この方が
かわいいお顔が
よく見え
ますよ？

そーら
ご開帳！

あ



あ... 答えなさいッ...

あの 裁判の目的を...ッ...!!

愛し合ってる 最中に

ゴチャゴチャ うるさい方だ!!



ガッ

ギョ

あ...

あ...



映姫様…

その問いには
まだ答えられ
ませんよ…

今の
あなたには

まだ…ね？

さ…そんな
ことより

お待ちかねの
大好物

あなたのマンコで
ゴム射したら
こんなに
出ましたよホラ

かはっ

舌
出して

待ち遠し
でしたらう？

あ…

自分の
マンコ汁も
一緒に味わって





よっと

ん

凛々しくて
可憐な
裁判長に

僕はあなたが
自分の意思で
同意してく
れるまで

こんな
ブザマな顔を
させつづけなきや
ならない……

ただもう
例の裁判まで
時間が無い

あまり頑なだと
次の段階に
移らざるを
得ませんが……



休憩所

なあ
お前んとこの
上司…どう？

ん？ああ
四季さん？

なんで

あの身長で
怒られてると
ちよっとクセに
なるんだよ

なにお前
Mか？

正直けっこう…
いやかなり
可愛くね？

閻魔多いけど
一人だけ幻想郷
担当でさらに
目立ってるし

まあちよっと
お説教っぽい
けどな

倉庫

つーか
昨日飲み
誘ったけど
予定あるって
断られた

マジか
彼氏？

さあ

案外
市内の誰か
とか？

いやそれは
ないだろ

かなり
お堅いからな

てかこんな話
してるとこ
見つかつたら
お説教かもな

ほら大人気
じゃない
ですか？

どうせアイツら
映姫様オカズに
又イてますよ
毎日…

実は市内に
あなたのファン
多いんですよ？

ミチ...



バレたら
どうなります
かねえ！

裁判官と
その秘書官が
こんなことして



はい
ヌキたて

ブラッ



おーっと
まだおあずけ
ですよ？

ス：



とうとう
庁舎でセックス
してしまい
ましたね



おや
いいんですか？

いりませんっ

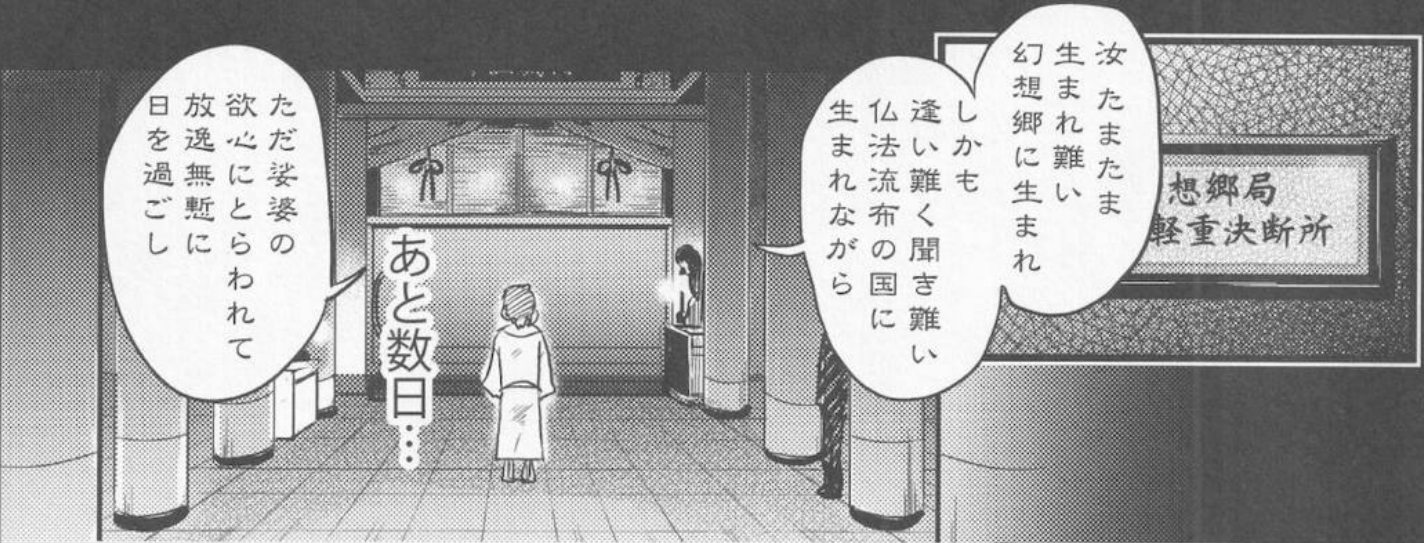
はい
よかったです

へえ
こりや驚いた
さすが閻魔様だ



中毒症状が
弱まっているのかも
しれませんねえ

その様子だと
後数日もたてば
完全に消えるかも…



汝たまたま
生まれ難い
幻想郷に生まれ

しかも
逢い難く聞き難い
仏法流布の国に
生まれながら

あと数日…

ただ娑婆の
欲心にとらわれて
放逸無慚に
日を過ごし



何の善根も
積むこともなく
又もやこの愚処へ
来たるとは
何たる事ぞ

あと数日
ガマシすれば…

汝
娑婆にある時
惜しんで貯えた
財宝は

開放されるー

今
冥途の資と
なると思うか

汝が娑婆に
いた時の罪科は

一つも洩らさず
俱生神が

この陵辱から…

鉄の札に
記入してあるから
読んで聞かせよう

ヤベ…コレ
意外と
キモチイイ

つーか
興奮するっ

声が少し
上ずって
いますよ？

序文のテンプレ
口上くらい
しっかり
読まないと…

外の
書記官達に
怪しまれますよ？

もーいいや
止まんねえ
入れちまお…

ゴム持って
ないけど

うっ…

ちよつと
出ちった…

えっ…

あ…

裁判長…？

どうか
なさいましたか？

いえっ…

なん…でも…

あ…

あり…ません…

ふっ…





今はっ…

耐える
しかっ…

では…
まずっ…

その鏡の…
前に立ちっ…
…なさい…

あーや
ナマきすぎ

ぱんっ

ぱんっ

ぱんっ



イやく
ビク

ビク

ビク

びゅる
びゅる

ビク

びゅる
びゅる

うえ!?
うそ…

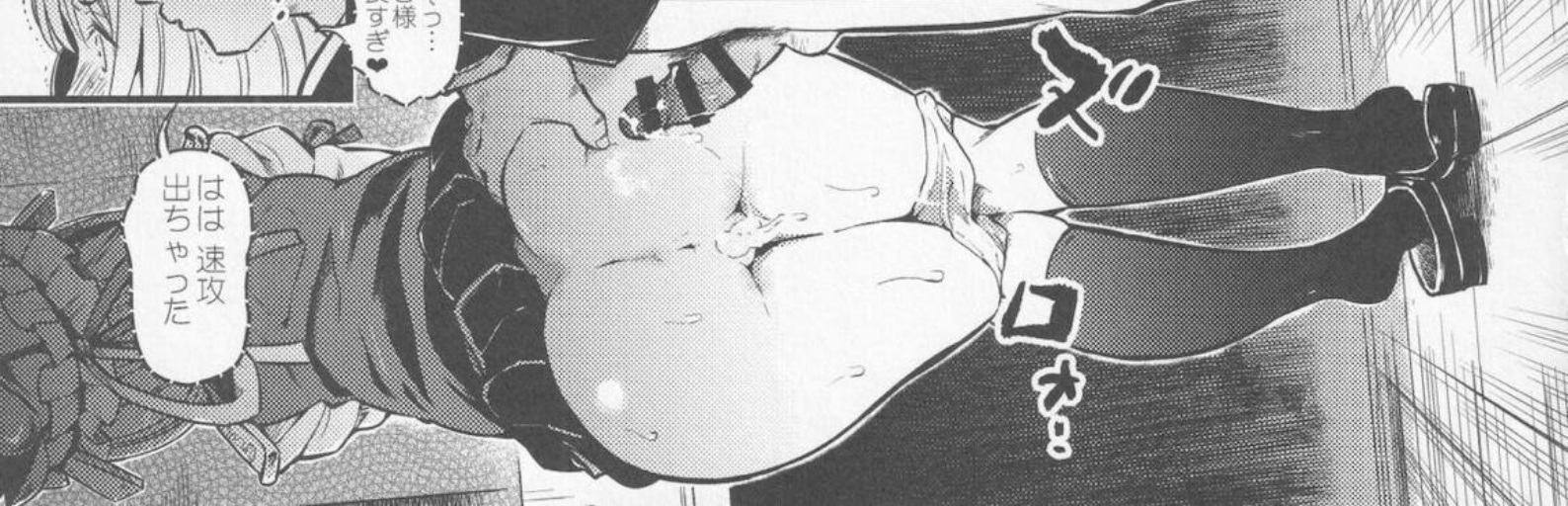
打脈…
打って…?

お…お…お…

ビク

びゅる
びゅる

ああ…
えーき様
ナマ良すぎ



クワ

クワ

はは速攻
出ちゃった



ほら続けて

ナカ...

あ...

あー
すごい
出ちやっ
た

アツいっ...



あれっ?

四季様まだ
戻ってきて
ませんか?

いや
見てないけど

そういや
今日の裁判
とっくに
終わってるな



あの、秘書官

四季様
どこにいらっしゃるか
ご存知ですかー?

さあ...
終わってからは
分からないですね

もしかしたら
裁判中にも
何かあったのかも
知れないですねえ...





どうしました
四季判事?



秘書官...



顔が
赤いですよ?



打ち合わせ...っ
しましう...っ

執務室まで...
来て...下さい...

今
すぐに

パッパッ

ガッガッ

驚き
ましたよ
映姫様……

まさか
こんなに強く
効くなんて

見てたかったん
ですけどね？

もっとあなたが
可愛らしく
抵抗する様子

でもそんな
映姫様に

欲しくて
たまらない
みたいですね

って聞いて
ねーや

僕は今から
尋問しなきゃ
ならない

あー
いい眺め



同意しないなら
これ以上は
おあずけだ

ひめっく!!

取返せ

発情したまま
仕事に戻りな
さい

同意：
しませんっ!!

私は…閻魔…
善悪を司る…

自分から
男に跨つてんだいて
何言ってるんだ!!

そらあっ!

そらッ!!

そうかよっ!!

僕と毎日
セックス
しまくってる
くせに!

そんなじゃ
クスリを言い訳に
堕ちればいい!

協力すれば
いくらでも
注いでやる!!





すでに
そのカラダは…

亡者も同然
なんですから…

ああ…

満たされてくっ…

私の…

カラダ
牝穴…

あ！
あ！
あ！

ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク

ドクドク

ドクドク

ドクドク



失礼します

……？

四季様は
いらっしやい
ませんか？

ああ
ちよつと別件で
出て行きました

どう
しました？

書類の承認を
もらい
たかったんですが
忙しそうなので
出直します

そうですか



しかし
本当に忙しい
方ですねえ、
四季判事は……

ええでも
テキパキ
こなしますし
我々のことも
ちゃんと面倒
見てくれますよ



愚痴も
聞いて
くれますし
ねーあは

へえ……

あ、
そろそろ
戻りますね

四季判事が
戻ったら伝えて
おきますよ

あ、どうも
じゃ
失礼しまーす



まさに
理想の上司
じゃないですか？

あー
そうかも
ですねー



やれやれ：
とんだ邪魔が
入りましたが

もう一度
聞きます

四季映姫
幻想郷判事

あなたは

閻魔王院
監査室からの
要請に従うことに

同意しますか？

はい…

同意します…♡

やっと
同意いただけ
たんですが

あなたは
一つ

今日犯した罪を
償うための
弾劾裁判を
受けてもらう
必要があります

なっ
なんの
つもり
ですかっ!?

懲罰房です

言ったでしょ
裁判を受けて
もらうって

そして
彼らは

あなたが
今日裁いた

地獄行き
の亡者達ですよ

出られませ
んから安心
してくださ
いよ

彼らは単
なる傍聴
人です

自分達を
断罪した
閻魔様の
裁判のため
のね

あなたの
罪状は

彼らの裁
判中何
度もイ
って

真剣に
判決を
下さな
かった
こと

では
始め
ます



彼らを載してる
最中もずっと
入れたままで...

何回
イカされ
ましたか？

三回...

たった？
ウソつけよ
発情判事が

よ...
四十二回...
いきました...

ハア!?

どんだけ
淫乱なんだよ

亡者どもの
前で

何か一緒に
どろどろのが
あふれてきます

これは
何ですか？

せ...
せ...
せ...
えき
です

今日...仕事中に
あなたを誘って
...その...

ナ...
ナカダシ...

してもらい
ました...

また誘ったら
出してもらえ
るかもしれま
せんね？



ほらよ!!

みじめな
亡者どもが
後ろでシコッて
ますね?

えーき様
キャンキャン
鳴き過ぎ♡
子犬かよ
ハハ

何考えながら
あいつらを
裁いていたん
ですか?

亡者どもを
裁いてるときもっ
秘書官に
ナカダシされる
ことしかっ
あッ
考えてません
れひたっ
あッ



どうでも
いい...

もっ...

それは
せいけま
せんね...



今すぐ
土下座
しろよ

ガッ



あなた達の
裁判中…

何度もイッて
ごめんなさい…っ

わたしは…っ

精液中毒の

ヤリマン閻魔
ですっ…



ほら
それだけ
ですか？

反省してるところを
見てもらうんじゃ
ないんですか？

今から…

部下に
お仕置きされながら
受精させられますっ…

目に
焼き付けて…

地獄に行っても
オカズにして
くださ…

ははッ
地獄逝きの
オナ猿どもに

反省中の
イキ顔
見せて
やれよ!!

せいせい
オカスに
なりな!!

情けなく
オナってから
地獄へ落ちる!!

四季映姫の
子宮を満たして
いいのは俺の子種
だけだ 馬鹿ども!!





量刑の
判決出たから
聞けよ

いきっぱなして
ねえで起きろよ
アホ面女

まーたら
イツてら...



亡者どもの
くっせえ
ザー汁地獄の刑

口開けて
ちやあんと
味わいなさい

あはは 閻魔様が
こんな亡者どもに
次々顔射キメラれ
てら

今日裁いた
全員分しっかり
受け止めて
下さいよ

くさくて
マズい
でしょ？

例の薬は
僕の精液以外
には効果は
ありません…

あなたは今
僕の子種以外
受け付けない
体なんですよ



もう
あなたは

僕の所有物
ですから

これじゃ
ない…

まず…

くっせえ…

あなた
あなた
秘書官の
でない私……

一週間後――

……承知しました

予定通り
裁判の手続きを
行います

ええ……
四季判事の件に
ついては
問題ありません

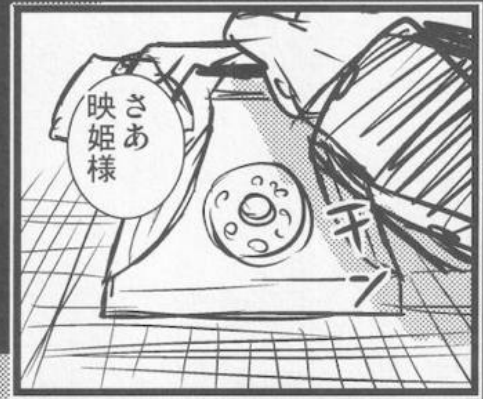




私が説得して
納得して
いただけました

地獄の
現状を憂い

改善したいと考える
賢明な方でした



さあ
映姫様

例の人物が
幻想郷で
我々の仲間
看取られて

先程
こちらに到着
したようです



今から裁判が
始まります

しっかり
働いて
下さいよ

…腔^{ナカ}内に…
ください…

ダメです
この裁判が
終わってからです

そういえば以前

この裁判の
目的を聞かれて
いましたね

あ、
答えなさいッ……

あの
裁判の目的を……

愛し
最中

直前で
申し訳ないですが
話しておきましようか……

この人物は生前
自身の手掛ける事業で
莫大な財を成した事業家
でしたが

同時に
その蓄財のためには
他人を平気で陥れる
人間でもありました

間魔直喩の
量刑基準では
八大地獄巡りを
三回行えるほどの
罪科です

ただこの者には
心臓に疾患があり
長くは生きられない
ことを我々は
わかっていた

地獄の使者が
生前行動を改めるよう
勧告しに行った際
そのことを告げると
この者は

「私の財産を
全て寄付するから
死後天界に
逝かせて欲しい」

と行って
きました

地獄側は死者の財産を死後どうにかすることができませんが

生前であれば双方の同意の下

寄付という形が取れるのです

まあそれを受けるか否かはその価値次第！

地獄の沙汰も銭といたつたところですよ

そういった莫大な財産を持ちながら地獄逝きとなる人間が

幻想郷の外の世界には何名もいましたね

その一部は今回のように天界への転生を希望します

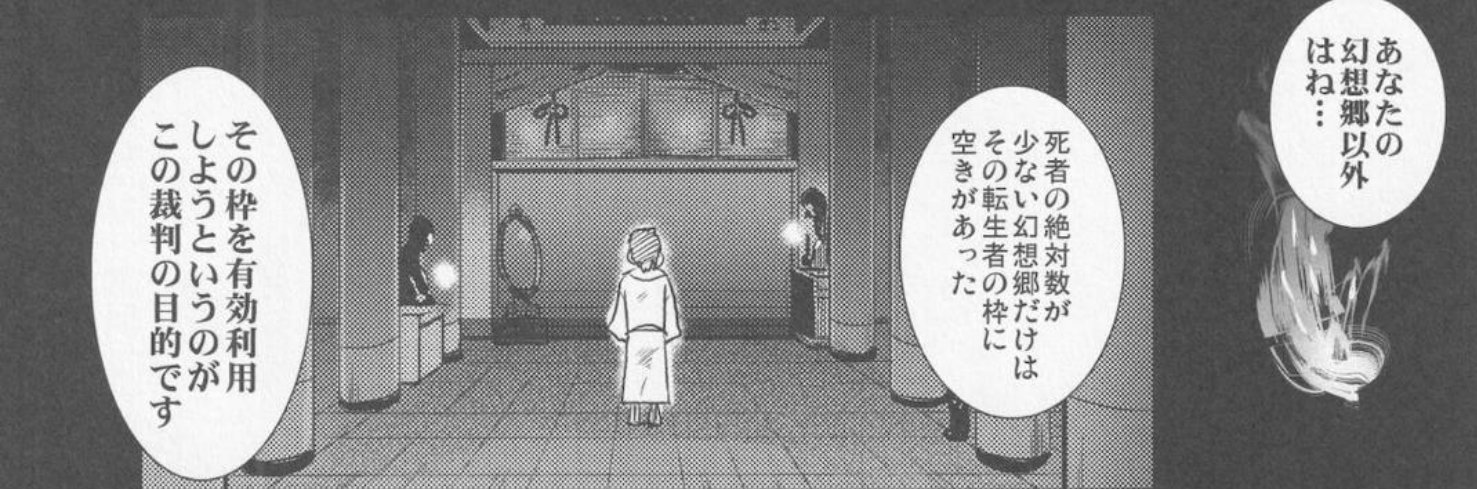
昨今ご存知のとおり死者の数が増えすぎて

天界への転生が大きく制限されている

あなたの幻想郷以外はね…

死者の絶対数が少ない幻想郷だけがその転生者の枠に空きがあった

その枠を有効利用しようというのがこの裁判の目的です



地獄の財政が
逼迫する中で

地獄の釜の火が
消えないのも

新しい拷問具で
亡者どもを
懲らしめられるのも

あなたが
品行方正な
閻魔様の顔を
しながら

毎日のように
腔内射精性交を
おねだりして
牝穴を
満たせるのも

多くは
その者達の
おかげ

というわけです

さごと...

では始めて
もらい
ましょうか

白黒はつきり
付けるのは
あなたです...

四季映姫

幻想郷判事

めすあなざいばん
牝穴 裁判



あ と が き

いやらしい場面から先に仕上げてしまう性質を晒してしまった…

非いやらしい場面が全然完成していません。
すいません。

是非曲直の組織構成とかを考えたりしていたら楽しくなってい

時間がなくなってしまった…

このシリーズをまとめて加筆修正し尽したズッシリ本を出すつもりなので
その時に大幅に加筆します。

竹刈シウム

牝 穴 糞 勃

N A R A K A O F L E B I D O

2019年12月31日 初版発行

著者

竹刈シウム

Mail:takecalcium@gmail.com

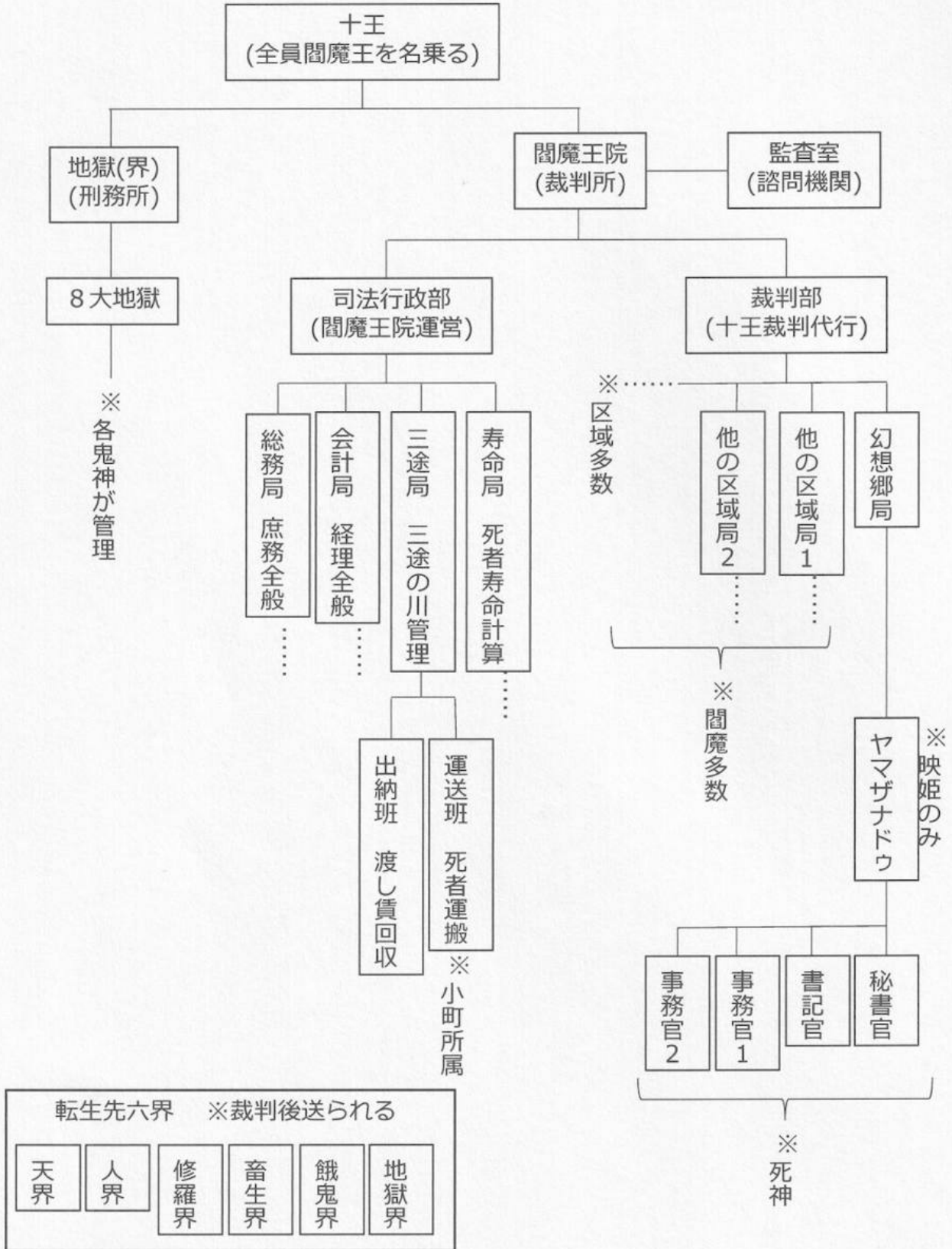
発行

武装カルシウム

印刷

株式会社 緑陽社

是非曲直庁組織図(妄想)





LIBIDO BEYOND NARAKA

Armament:Calcium